

7. AD I の評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメトキシフェノジドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量： 9.8 mg/kg 体重/day
(動物種) イヌ
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 慢性毒性試験
(期間) 1年間
安全係数：100
AD I : 0.098 mg/kg 体重/day

8. 諸外国における状況

2003年にJMPRにおける毒性評価が行われ、AD Iが設定されている。国際基準はブロッコリー、キャベツ等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアーティチョーク、ぶどう等に、カナダにおいてりんご、なし等に、オーストラリアにおいて綿実、ブルーベリー等に、ニュージーランドにおいてキウイフルーツ、りんご等に基準値が設定されている。

9. 基準値案

(1) 残留の規制対象

メトキシフェノジドとする。

作物残留試験において、メトキシフェノジド、A環フェノール体及びB環アルコール体の分析が行われているが、A環フェノール体及びB環アルコール体はメトキシフェノジドと比較して十分に低い残留量であることから、農産物の規制対象としてA環フェノール体及びB環アルコール体を含めないこととした。

また、畜産物については、家きんの脂肪を除き国際基準を採用することとするが、JMPRにおいて畜産物の規制対象はメトキシフェノジド（親化合物のみ）と評価されている。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、食品中の暴露評価対象物質としてメトキシフェノジド（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までメトキシフェノジドが残留していると仮定し

た場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMD I））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全く無いとの仮定の下を行った。

	TMD I／ADI (%) ^{注)}
国民平均	42.2
幼小児（1～6歳）	75.1
妊婦	33.4
高齢者（65歳以上）	45.3

注) TMD I 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。なお、高齢者については畜産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

メトキシフェノジド作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm) 【メトキシフェノジド/A環フェノール体/B環アルコール体】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	0.5% 粉剤DL	4kg/10a 散布	3回	14, 21, 28日	圃場A : <0.02/<0.02/<0.02
					14, 20, 28日	圃場B : <0.02/<0.02/<0.02
水稻 (稻わら)	2	0.5% 粉剤DL	4kg/10a 散布	3回	14, 21, 28日	圃場A : 1.82/0.23*/0.05(*3回, 28日)
					14, 20, 28日	圃場B : 2.15*/0.21*<0.04(*3回, 28日)
水稻 (玄米)	2	9%フロアブル	16倍・無人ヘリ散布 800mL/10a	3回	14, 21日	圃場A : 0.01/-/-
						圃場B : <0.01/-/-
水稻 (稻わら)	2	9%フロアブル	16倍・無人ヘリ散布 800mL/10a	3回	14, 21日	圃場A : 2.29/-/-
						圃場B : 2.14/-/-
水稻 (玄米)	2	9%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A : 0.02/-/-
						圃場B : 0.01/-/-
水稻 (稻わら)	2	9%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A : 0.70*/-/-(*3回, 21日)
						圃場B : 0.56*/-/-(*3回, 21日)
だいす (乾燥子実)	2	9%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	14, 21, 21日	圃場A : <0.01/-/-
						圃場B : <0.01/-/-
だいす (乾燥子実)	2	9%フロアブル	16倍・無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	14, 21, 21日	圃場A : <0.01/-/-
						圃場B : <0.01/-/-
りんご (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 600L/10a	3回	21, 30, 45日	圃場A : 0.60*/-/-<0.01(*3回, 30日)
						圃場B : 0.92*/-/-<0.01(*3回, 30日)
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	2回	14, 21, 21日	圃場A : 0.22/-/-<0.01
						圃場B : 0.16/-/-<0.01
茶 (荒茶)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 21日	圃場A : 7.64/0.02/0.03
						圃場B : 13.90/0.06/0.03
茶 (浸出液)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 21日	圃場A : 0.96/<0.02/<0.02
						圃場B : 2.51/<0.02/<0.02
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	3回	14, 21, 21日	圃場A : <0.01/-/-<0.01
						圃場B : <0.01/-/-<0.01
トマト (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.38/-/-
						圃場B : 0.10*/-/-(*2回, 7日)
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A : 0.12*/-/-(*2回, 14日) (#) ^(注2)
						圃場B : 0.16*/-/-(*2回, 14日) (#)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A : 0.18*/-/-(*2回, 14日) (#)
						圃場B : 0.71*/-/-(*2回, 14日) (#)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 0.54/-/-
						圃場B : 3.78*/-/-(*2回, 7日)
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.60/-/-
						圃場B : 0.32/-/-
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.60/-/-
						圃場B : 1.07/-/-
いちご (果実)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.42/-/-
						圃場B : 0.60/-/-
とうとう (果実)	2	20%フロアブル	4000倍散布 400~500L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.62*/-/-(*3回, 3日) (#)
						圃場B : 0.38*/-/-(*3回, 3日) (#)
はくさい (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200~238L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 0.28/-/-
						圃場B : 0.01/-/-
はずいも (葉柄)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : <0.1*/-/-(*2回, 1日) (#)
						圃場B : <0.1*/-/-(*2回, 1日) (#)
しあとう (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~350L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.80*/-/-(*2回, 1日) (#)
						圃場B : 0.72*/-/-(*2回, 1日) (#)
はなっこりー (花蕾部及び茎)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.52/-/-
						圃場B : 0.80/-/-
プロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 1.46*/-/-(*2回, 3日) (#)
						圃場B : 1.76*/-/-(*2回, 3日) (#)
つるな (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150~180L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 8.30/-/-
						圃場B : 9.84/-/-
食用ぎく (花柄)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.63/-/-
						圃場B : 1.39/-/-

(注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における曝露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

(注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(注3) 今回の適用拡大申請に伴い、新たに提出された作物残留試験データを網掛けとした。

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	参考基準値			作物残留試験成績 ppm
			登録 有無	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.1	0.1	○			<0.02,<0.02/0.01,<0.01/0.02,0.01
とうもろこし	0.02	0.02		0.02		
大豆	0.3	0.3	○		1.0	アメリカ 【<0.05(#)~0.15(#) (n=13)】
小豆類	4.0	4.0			4.0	アメリカ 【0.11~2.7 (n=6) (ささげ)】
てんさい さとうきび	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
かぶ類の葉	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のレタス及び ほうれんそうを参照】 【米国のブロッコリーを参照】
クレソン	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のブロッコリーを参照】
はくさい キャベツ	7.0 7	7.0 7	○	7	7.0	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 【0.28,0.01 0.22,0.16】
芽キャベツ	7.0	7.0			7.0	
ケール	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
こまつな	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
きょうな	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
チングンサイ	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【0.52~1.7 (n=8) (米国ブロッコリー)】
カリフラワー	7.0	7.0			7.0	アメリカ
ブロッコリー	5	3	○・申	3	7.0	アメリカ 1.46(#),1.76(#\$) 0.52,0.80 (はなつこりー) 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】
その他のあぶらな科野菜	30	30	○		30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
アーティチョーク	3.0	3.0			3.0	アメリカ 【0.99~1.2 (n=3)】
チコリ	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】
エンダイブ	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】
しゅんぎく	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】 0.54,3.78 【1.6~9.7 (n=8) (頭部外葉あり) 0.45~0.11 (n=3) (頭部外葉なし) 3.9~23 (n=8) (葉)】 0.63,1.39 (食用ぎく) 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	30	30	○	30		
その他のきく科野菜	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○			0.12(#),0.16(# (葉ねぎ) 0.18(#),0.71(#\$) (根深ねぎ) 【米国のからしなを参照】 【米国のからしなを参照】
パセリ	30	30	○		30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
セロリ	15	15			15	
その他のせり科野菜	30	30			30	アメリカ 【米国のからしなを参照】
トマト	2	2	○	2		0.38,0.10
ピーマン	3	3	○	2		0.60,1.07
なす	2	2	○		2.0	アメリカ 0.60,0.32
その他のなす科野菜	2	2	○		2.0	アメリカ 0.80, 0.72 (しおとう) 【0.26~0.94 (n=4) (とうがらし)】
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【0.011~0.67 (n=8)】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【<0.01~0.15 (n=6)】 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
しろうり	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
すいか	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【0.071~0.19 (n=8)】 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
メロン類果実	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
まくわうり	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
その他のうり科野菜	0.3	0.3			0.3	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
ほうれんそう	30	30			30	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
オクラ	2.0	2.0			2.0	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】
その他の野菜	30	30	○		30	アメリカ 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】 <0.1(#), <0.1 (#) (はすいも) 8.30,9.84 (つるな) 【米国のかきゅうり、かぼちゃ、 カントローブを参照】

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	参考基準値			作物残留試験成績 ppm
			登録 有無	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
りんご	2	2	○	2		0.60, 0.92
日本なし	2	2		2		
西洋なし	2	2		2		
マルメロ	2	2		2		
びわ	2	2		2		
もも	2	2		2		
ネクタリン	2	2		2		
あんず(アプリコットを含む。)	2	2		2		
すもも(ブルーンを含む。)	2	2		2		
うめ	2	2		2		
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○	2		0.62(#), 0.38(#)
いちご クランベリー	2 0.7	2 0.7	○	0.7		0.42, 0.60
ぶどう	1	1	○	1		
バナナ						
キウイ	0.5	0.5			0.5 ニュージーランド	【<0.01-0.77(n=24)】
その他の果実	0.1	0.1		0.1		
綿実	7	7		7		
ぎんなん	0.1	0.1		0.1		
ぐり	0.1	0.1		0.1		
ペカン	0.1	0.1		0.1		
アーモンド	0.1	0.1		0.1		
くるみ	0.1	0.1		0.1		
その他のナッツ類	0.1	0.1		0.1		
茶	20	20	○			7.64, 13.90
その他のスパイス	30	30				【米国のレタス及び ほうれんそうを参照】
その他のハーブ	30	30		30	アメリカ	【11-18(n=7)(からしな)】
牛の筋肉	0.02	0.02		0.02		
豚の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.02	0.02		0.02		
牛の脂肪	0.05	0.05		0.05		
豚の脂肪	0.05	0.05		0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05		0.05		
牛の肝臓	0.02	0.02		0.02		
豚の肝臓	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.02	0.02		0.02		
牛の腎臓	0.02	0.02		0.02		
豚の腎臓	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.02	0.02		0.02		
牛の食用部分	0.02	0.02		0.02		
豚の食用部分	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.02	0.02		0.02		
乳	0.01	0.01		0.01		
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.02	0.02		0.02	アメリカ	
その他の家きんの脂肪	0.02	0.02		0.02	アメリカ	
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01		0.01		
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの卵	0.01	0.01		0.01		
すもも(乾燥させたもの)	2	2		2		
干しぶどう	3	3		3		

(\\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

メトキシフェノジド 推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.1	18.5	9.8	14.0	18.9
とうもろこし	0.02	0.1	0.1	0.1	0.0
大豆	0.3	16.8	10.1	13.7	17.6
小豆類	4.0	5.6	2.0	0.4	10.8
てんさい	0.05	0.2	0.2	0.2	0.2
かぶ類の葉	30	15.0	3.0	9.0	33.0
クレソン	30	3.0	3.0	3.0	3.0
はくさい	7.0	205.8	72.1	153.3	221.9
キャベツ	7	159.6	68.6	160.3	139.3
芽キャベツ	7.0	0.7	0.7	0.7	0.7
ケール	30	3.0	3.0	3.0	3.0
こまつな	30	129.0	60.0	48.0	177.0
きょうな	30	9.0	3.0	3.0	9.0
チンゲンサイ	30	42.0	9.0	30.0	57.0
カリフラワー	7.0	2.8	0.7	0.7	2.8
ブロッコリー	5	22.5	14.0	23.5	20.5
その他あぶらな科野菜	30	63.0	9.0	6.0	93.0
アーティチョーク	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
チコリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
エンダイブ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
しゅんぎく	30	75.0	18.0	57.0	111.0
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	30	183.0	75.0	192.0	126.0
その他のきく科野菜	30	12.0	3.0	15.0	21.0
ねぎ (リーキを含む。)	3	33.9	13.5	24.6	40.5
パセリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
セロリ	15	6.0	1.5	4.5	6.0
その他のせり科野菜	30	3.0	3.0	3.0	9.0
トマト	2	48.6	33.8	49.0	37.8
ピーマン	3	13.2	6.0	5.7	11.1
なす	2	8.0	1.8	6.6	11.4
その他のなす科野菜	2	0.4	0.2	0.2	0.6
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	4.9	2.5	3.0	5.0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	2.8	1.7	2.1	3.5
しろうり	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2
すいか	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.3	0.1	0.1	0.03	0.1
まくわうり	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.3	0.2	0.0	0.7	0.2
ほうれんそう	30	561.0	303.0	522.0	651.0
オクラ	2.0	0.6	0.4	0.4	0.6
その他の野菜	30	378.0	291.0	288.0	366.0
りんご	2	70.6	72.4	60.0	71.2
日本なし	2	10.2	8.8	10.6	10.2
西洋なし	2	0.20	0.20	0.20	0.20
マルメロ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
びわ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
もも	2	1.0	1.4	8.0	0.2
ネクタリン	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アンズ (アプリコットを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
すもも (ブルーンを含む。)	2	0.4	0.2	2.8	0.4
うめ	2	2.2	0.6	2.8	3.2
おうとう (チェリーを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
いちご	2	0.6	0.8	0.2	0.2
クランベリー	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	1	5.8	4.4	1.6	3.8
キウイ	0.5	0.9	0.7	0.6	1.0
その他の果実	0.1	0.4	0.6	0.1	0.2
綿実	7	0.7	0.7	0.7	0.7
ぎんなん	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
ペカン	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
クルミ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	20	60.0	28.0	70.0	86.0
その他のスペイス	30	3.0	3.0	3.0	3.0
その他のハーブ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
陸棲哺乳類の肉類	0.05	2.9	1.6	3.0	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	1.4	2.0	1.8	1.4
家禽の肉類	0.02	0.4	0.4	0.3	0.4
家禽の卵類	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
計		2202.0	1162.4	1822.3	2407.7
ADI比 (%)		42.2	75.1	33.4	45.3

高齢者については畜産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成13年 8月22日 初回農薬登録
平成17年11月29日 残留農薬基準告示
平成19年 2月 5日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年 6月22日 農林水産省より厚生労働省へ基準設定依頼（魚介類）
平成19年 6月25日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成19年10月18日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成20年 6月30日 残留農薬基準告示
平成21年 5月11日 農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：ブロッコリー）
平成21年 6月 8日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年 1月 7日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年 5月27日 薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成22年 6月 4日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

青木 宙 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
生方 公子 北里大学北里生命科学研究所病原微生物分子疫学研究室教授
○大野 泰雄 国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎 博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤 保博 財団法人残留農薬研究所理事
斎藤 貢一 星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤 清 財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
佐々木 久美子 元国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
志賀 正和 元農業技術研究機構中央農業総合研究センター虫害防除部長
豊田 正武 実践女子大学生活科学部食生活科学科教授
永山 敏廣 東京都健康安全研究センター医薬品部長
松田 りえ子 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内 明子 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
山添 康 東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池 信男 青森県立保健大学健康科学部栄養学科教授
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科教授
鰐渕 英機 大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授
(○:部会長)